特集

菊陽（ここ）が出発点、夢の力。～輝く菊陽人～

菊陽町出身の今最も輝いている女性たちをご存じですか。彼女たちは、今この時も自分の道を信じ努力を重ねています。８月号と９月号の２回にわたって、夢を諦めないという芯の強さと豊かな心を持つ女性二人を紹介します。何が彼女たちを支えているのでしょう。自分を信じる大切さとは―。

INAC（アイナック）神戸レオネッサ
渡辺（わたなべ）　彩香（あやか）さん

サッカーは人と人とをつなぐ橋。
どんな人からも学ぶものはあります。

サッカーが一番楽しかった

小学校３年生のとき菊陽町のキッズサッカースクールに入ったことが、サッカー人生の始まりです。スポーツは他にも水泳やソフトボールなどいろいろやりましたが、やっぱりサッカーが一番楽しかったです。だから今までずっと続けられているのだと思います。

悩む前に行動する

菊陽西小学校でもサッカー部に所属していましたが、女子だけのチームでサッカーをプレイしたいと思い、クラブチーム「ＭＥＬＳＡ（メルサ）熊本」（菊陽町）に中学１年生から所属しました。中学生のときは体が小さかったので、ボールがうまく蹴れませんでした。しかし、それを悩んだことはありません。「サッカーが好き」という思いの方が強かったのだと思います。悩むよりも前に、気になることがあればすぐに周りの人に聞いて、毎回誰よりも早く練習に来てボールを蹴っていました。

高校でもサッカー部に入りたいと思い、大津高校を選びました。その時からキック力が持ち味になりました。「努力次第で変わることができる」と肌で感じました。

INAC（アイナック）神戸レオネッサへ移籍

日本代表のなでしこＪＡＰＡＮに多くの選手が選ばれているＩＮＡＣ神戸レオネッサから、移籍の話が二度ありました。一度目は、なでしこＪＡＰＡＮが優勝した年でもあったので、大変驚きました。ただ、そのときはまだ前のチームのＡＳエルフェン狭山でプレイしたいという思いが強かったのでお断りしましたが、まさか再びオファーがあるとは思いませんでした。二度目は、前のチームが下部リーグへ降格したときだったので、チームに残るか移籍するか悩みましたが、自分自身の成長のためにチャレンジすることを決意しました。

ＩＮＡＣ神戸レオネッサはほとんど負けることのない強いチームです。そんなチームに所属し、自分が試合に出ることで前のチームの仲間の励みになる、そう思って頑張っています。また、サッカーに集中することができる環境に感謝しています。

サッカー選手としての強み

試合ではフリーキックなども蹴らせてもらっているのですが、左足のキックとスピードが自分の持ち味です。自信を持っているところですが、毎試合できないことや課題が出てきます。それを一つずつクリアしていきたいと思いますし、課題が多い分伸びしろがあると思ってます。

なでしこジャパンに初選出

なでしこジャパンに挑戦する選手たちを発掘・育成・強化する「なでしこチャレンジプロジェクト」に二度選ばれて合宿に参加しました。若手主体のアルガルベカップには選ばれるかもしれないと思っていたのですが、選ばれず、今回の日本代表に選ばれたので信じられなかったですね。周りの支えてくれている人が喜んでくれると思いました。

サッカーの魅力、続ける理由

続けている一番の理由は楽しいからです。今まで一度も辞めたいと思ったことはありません。初めて会った人でも一緒にサッカーをすると仲良くなれます。サッカーを通してつながれるというのが魅力だと思います。プレイするのも見るのも楽しい。それがサッカーの持っている力かなと思います。

父との思い出

父とはさんさん公園でよくサッカーをしていました。小学校低学年のころ、大会前には朝６時から父と練習していました。その当時はつらかったですが、今となってはいい思い出です。父は練習や大会にも必ず顔を出してくれました。秋田から沖縄までどこにでもです。思春期のころは嫌になったこともありますが、父や家族のサポートがあってサッカーができていると感謝しています。実家に帰ると料理をするのですが、体のことを考えて作るので父も喜んでくれてうれしいです。

ふるさとの魅力

サッカーをしたグラウンドが菊陽町の思い出の場所です。帰ってくると安心します。水も空気もおいしいと感じます。水を買うことが今までなかったので、水のおいしさは当たり前だと思っていたのですが、菊陽町を出てからありがたいことだなとあらためて思いました。

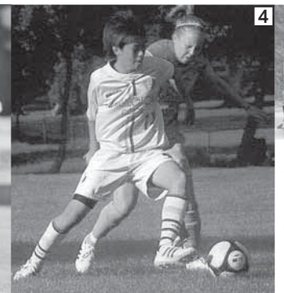
伝えたい思い

今でも菊陽町に帰ってくるとＭＥＬＳＡ熊本の仲間やスタッフが温かく迎えてくれます。当時の監督だった山本省吾さんから言われた「できた、できなかったじゃなく、やったかやらなかったか」という言葉が胸に残っています。私は誰よりも山本監督から怒られていましたね。いつもは優しい監督もサッカーのことになると熱くなり違う一面を見せてくれます。暑いのは嫌いですが、熱いのは嫌いじゃないんです。この年になってみんなと走り回ったり、怒ったり、体いっぱい喜んだりすることはないですよね。サッカーをしているとそういうことが楽しいです。

子どもたちも上手になるとか有名になるとかではなく、好きなことを続けてくれればいいなと思います。その中でできた友達は特別ですし、ずっとつながっています。それが自分の支えになります。今までお世話になったみんなに恩返ししたいと思います。

Profile

1989年７月15日生まれ
1996年４月　菊陽西小学校入学
2002年４月　武蔵ヶ丘中学校入学
　　クラブチーム「MELSA熊本」（菊陽町）に高校卒業時まで所属
2005年４月　大津高校入学
2008年４月　武蔵丘短期大学入学
　　女子サッカー部「CIENCIA」
2010年２月　ＡＣ長野パルセイロ入団
2011年１月　ＡＳエルフェン狭山ＦＣに移籍
2012年２月　日本サッカー協会「なでしこチャレンジプロジェクト」に選出
2013年１月　INAC神戸レオネッサに移籍
2013年２月　日本サッカー協会「なでしこチャレンジプロジェクト」に選出
2013年６月　日本代表「なでしこジャパン」に初選出
2013年９月　うまかなよかなスタジアム「INAC神戸レオネッサ VS アルビレックス新潟レディース」



1．小学６年生の渡辺選手／２．３．大津高校サッカー部／４．武蔵丘短期大学サッカー部「CIENCIA」

５．INAC 神戸レオネッサ VS 伊賀ＦＣくノ一（鈴鹿スポーツガーデン）／６．愛犬がんもと／７．チームメイトと休憩中の渡辺選手／８．INAC 神戸レオネッサ VS ＦＣ大阪高槻（ノエビアスタジアム神戸）／９．MELSA 熊本の元監督山本省吾さんと／10．INAC 神戸レオネッサの選手のみなさん

写真提供：INAC神戸レオネッサ